

1 まちづくり政策（健康福祉部関係分）

政策 3 福祉 ・ 保健 ・ 医療	政策展開の方向性
	全ての市民が、いつまでも元気に過ごせるよう、健康意識の向上と健康づくりの推進に努め、病気や怪我をした際には、必要な治療が迅速かつ適切に受けられるよう、地域医療体制と市立病院経営の安定を図ります。 また、誰もが安心して生活できるよう、保険・医療など社会保障制度の周知に努めるとともに、制度の安定した運営を図ります。 さらに、障がいのある方や高齢者が、地域でいきいきと自立した生活を送れるよう、サービスの充実を図るとともに、市民の地域福祉に対する理解を深め、人材を育成し、確保することで、みんなで支え合う地域づくりを推進します。
	令和8年度に向けての展開方針（方針や重点事業の計画等を記載）
	3-（1） 地域福祉の充実
	<ul style="list-style-type: none"> ・第5期地域福祉計画に基づき、相談しやすい仕組みづくり、地域福祉活動の担い手の確保と地域福祉を推進する環境づくりに努めます。 ・様々な地域生活課題を抱える市民が必要な支援を受けられるよう、市及び関係機関の横断的な連携を促進するため、包括的支援体制の構築に向けた準備を進めます。併せて、自治会、民生委員児童委員、ボランティア団体や様々な福祉関係機関の活動を促進し、福祉を担う人材の確保・育成を進めます。 ・支えあいの意識を醸成し、地域で安全安心に暮らせる生活環境づくりのための施策を推進します。
3-（2） 健康づくりの推進と地域医療の安定	
<ul style="list-style-type: none"> ・えべつ市民健康づくりプラン21（第3次）、第2次自殺対策計画に基づき、市民一人ひとりの健康づくりを推進します。 ・健康診査やがん検診などの推進により、疾病の早期発見、早期治療に結びつけ、合併症や重症化を予防します。 ・運動による健康の保持増進のため「E-リズム」体験会を実施します。また、食生活改善推進員、健康づくり推進員や健康づくりサポーターとともに地域の健康づくり活動を推進するほか、ゲートキーパー養成講座を開催するなど、こころと体の健康づくり活動を推進します。 ・健康寿命延伸のため、保健事業と介護予防を一体的に推進します。健診未受診等の健康状態が不明な高齢者に対する訪問等を通じ、健康課題の把握を行い、フレイル予防に向けた取組を進めます。 ・健康づくりのきっかけとなるような啓発イベントを開催するとともに、様々な機会を通じて野菜摂取を促す働きかけなどを行うことで、市民の健康意識向上を図ります。 ・休日や夜間における医療体制を確保するため、引き続き関係機関と連携を図るとともに、新たに設立する「地域医療連携推進法人」の事業開始により、持続可能な地域医療提供体制の確保を進めます。 ・新たに「救急安心センターさっぽろ（＃7119）」に参加し、救急医療相談体制の充実に努めます。 	
3-（3） 障がい者福祉の充実	
<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者支援・えべつ21プラン（第5期障がい者福祉計画・第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画）に基づき、「障がいのある方の自立を地域で支える共生社会の形成」に向け、障がいのある方が地域で安心して生活ができるよう、関係機関との協議や障がいについての理解促進を図ります。また、令和8年度が現計画の最終年度となることから、次期計画を策定します。 ・障がいのある方への総合的な相談支援の充実や就労の場の確保に向け、自立支援協議会など、さまざまな機会を活用しながら関係機関との連携を推進するとともに、就労に係る包括的な相談窓口「ワークサポートえべつ」に開設している「えべつ障がい者しごと相談室すてら」において、障がいのある方への就労に関する相談や定着支援を行うほか、障がい者就労に係る企業の相談や支援を行います。 ・手話言語条例に基づき、手話言語への理解や手話を使いやすい環境づくりに向けた施策の推進を図ります。 	

3 - (4) 高齢者福祉の充実

- ・高齢者総合計画（第10期高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画）に基づき、地域包括ケアシステムの推進に努めます。また、令和8年度が現計画の最終年度となることから、次期計画を策定します。
- ・市民への介護保険制度の普及啓発に努め、適正な介護保険事業の運営を実施します。
- ・高齢者の社会参加による生きがいづくりに加え、健康づくりや介護予防を促進します。
- ・高齢者が安心して暮らすための福祉サービスの提供に努めます。
- ・高齢者の自立支援と介護予防の推進に向けて、介護予防・日常生活支援総合事業の実施、医療と介護の連携推進、認知症施策の推進、生活支援体制の整備などの地域支援事業を実施します。
- ・認知症の正しい知識の普及啓発や、認知症の方とその家族に対する相談や見守り合い、支え合い体制の整備を推進します。
- ・成年後見制度利用促進基本計画に基づき、制度利用の促進を図るための広報・啓発の推進や権利擁護を必要とする方を関係機関が連携して支援する体制の強化に努めます。
- ・介護人材の不足に対応するため、介護人材確保の取り組みを推進します。

3 - (5) 安定した社会保障制度運営の推進

- ・生活困窮者の早期把握と個人の状況に合わせた相談支援を行うとともに、多様で複合的な生活課題を抱える生活困窮者の自立を支えるため、福祉関係機関や企業、ボランティア団体などとの連携を図ります。
- ・生活保護制度を適正に実施し、健康で文化的な最低限度の生活水準を保障します。
- ・就労支援員の配置やケースワーカーの助言指導などにより、生活保護受給者の経済的・日常生活・社会生活の自立を支援します。
- ・すべての人が年金の受給権を得られるよう、国民年金への加入、保険料の納付や免除申請など、国民年金制度の啓発に努めます。
- ・疾病の早期発見や重症化の予防などを啓発することにより、医療費の適正化を図るとともに、加入喪失の届出が適切に行われるよう国民健康保険制度の周知に努めます。
- ・健康診査の実施等、後期高齢者医療保健事業の充実による被保険者の健康の保持増進及び医療費の適正化を図り、制度の安定運営に努めます。

政策の成果指標	単位	(初期値)	R6年度	R7年度	R8年度	目標
地域全体で支え合う福祉ができていると思う市民割合	%	39.0	39.0			↗
健康だと思う市民割合	%	78.4	81.7			↗
高齢になっても江別市に住み続けたいと思う市民割合	%	67.9	73.0			↗

健康福祉部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況

「地域福祉活動支援事業」 ボランティア活動延べ実施人数	人	1,281	4,081			→
「心身障害者自立促進交通費助成事業」 身体障がい者、知的障がい者並びに精神障がい回復者のうち通所サービス決定者数	人	260	324			→
「介護保険事業計画」 介護予防や認知症に関する講座の参加者数	人	1,720	2,183			↗
「健康づくり推進事業」 こころや体の健康づくりに関する講座、教育、相談の参加人数	人	4,182	5,628			↗

2 えべつ未来戦略（健康福祉部関係分）

戦 略	■具体的施策 「関連事業」（担当課）
【戦略1】 子どもが主役のまちをつくる	
【戦略2】 幸せに歳を重ねられる暮らしをとどける	① 健康増進活動の推進 「健康づくり推進事業」（保健センター） 「健康都市推進事業」（健康推進担当） ② 疾病予防・重症化予防の促進 「成人検診推進事業」（保健センター） 「特定健康診査等事業」（保健センター） 「一般介護予防事業」（地域支援事業担当）
【戦略3】 みんなの働きがいと、元気な経済をつくる	
【戦略4】 地域から地球温暖化防止に挑む	
【戦略5】 デジタル技術で住みよい明日を切りひらく	

3 健康福祉部の資源

		実 績		予算額		
		—	—	令和6年度	令和7年度	令和8年度
歳出予算額 (千円)	一般会計 (A)			11,985,687	11,678,940	12,081,112
	特別会計 (B)	0		25,325,414	26,241,000	26,303,000
	・国民健康保険会計			12,004,706	12,256,000	11,765,000
	・後期高齢者医療会計			2,153,753	2,259,000	2,590,000
	・介護保険会計			11,166,955	11,726,000	11,948,000
	合計 (A+B)	0	0	37,311,101	37,919,940	38,384,112
正職員人件費 (千円)	人工 (a)			71.65	72.60	72.50
	平均単価 (b)			7,695	7,904	8,416
	人件費 (a×b)	0	0	551,347	573,830	610,160
総 額		0	0	37,862,448	38,493,770	38,994,272